

和歌山県の地震

令和 7 年 6 月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度 1 以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 2
震度分布図	・・・・・・・・ 3

2. 地震一口メモ

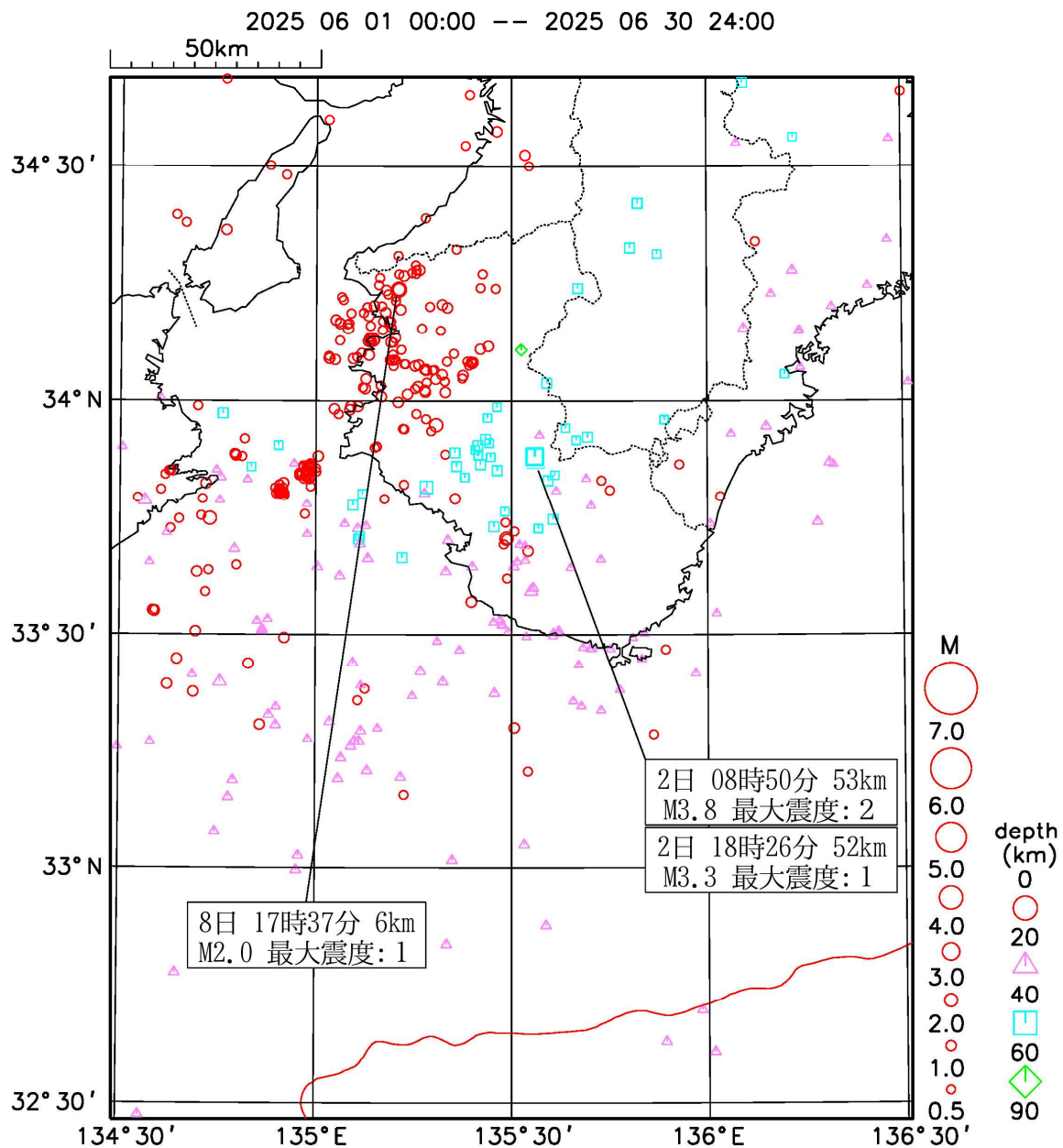
津波フラッグ	・・・・・・・・ 4
--------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図 25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

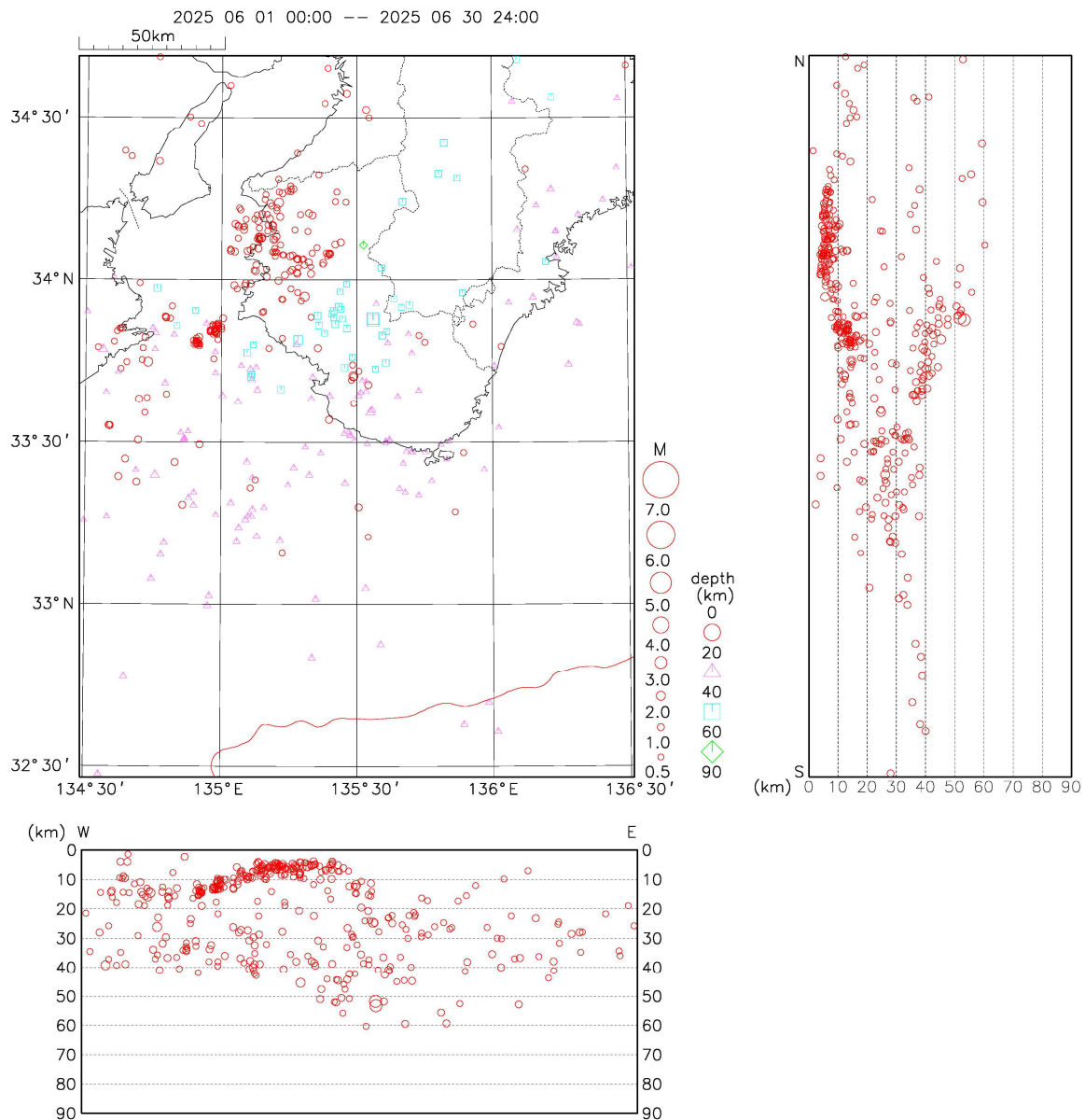
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

6月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は11回（前月は21回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、2日08時50分 和歌山県南部の地震（M3.8、深さ53km）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

6月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、3回（前月9回）でした。

【 断面図 】



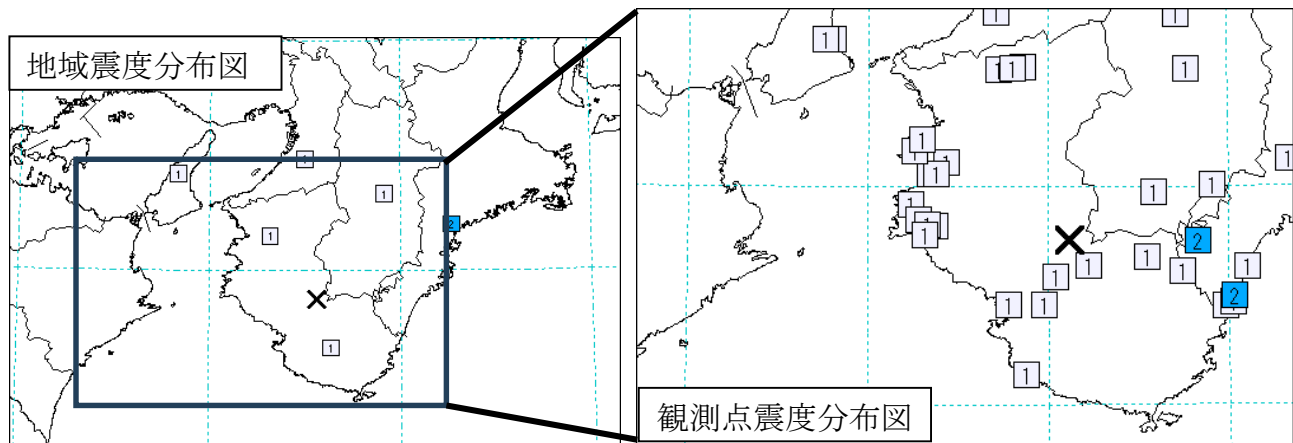
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時 (年月日時分)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度 (和歌山県内のみ掲載)					
2025年06月02日08時50分	和歌山県南部	33° 52.5' N	135° 33.6' E	53km	M3.8
和歌山県 震度 1 : 海南市下津*, 有田市箕島, 御坊市菌, 御坊市湯川*, 湯浅町青木*, 和歌山広川町広*, 和歌山日高町高家*, 由良町里*, 日高川町土生*, 紀の川市粉河, 紀の川市那賀総合センター*, 紀の川市西大井*, 有田川町下津野*, 田辺市中辺路町近露, 田辺市中辺路町栗栖川*, 田辺市本宮町本宮*, 田辺市鮎川*, 田辺市東山*, 新宮市新宮, 新宮市熊野川町日足*, 白浜町日置*					
2025年06月02日18時26分	和歌山県南部	33° 52.9' N	135° 33.5' E	52km	M3.3
和歌山県 震度 1 : 御坊市湯川*, 田辺市本宮町本宮*, 白浜町日置*					
2025年06月08日17時37分	和歌山県北部	34° 14.3' N	135° 12.6' E	6km	M2.0
和歌山県 震度 1 : 和歌山市一番丁*					

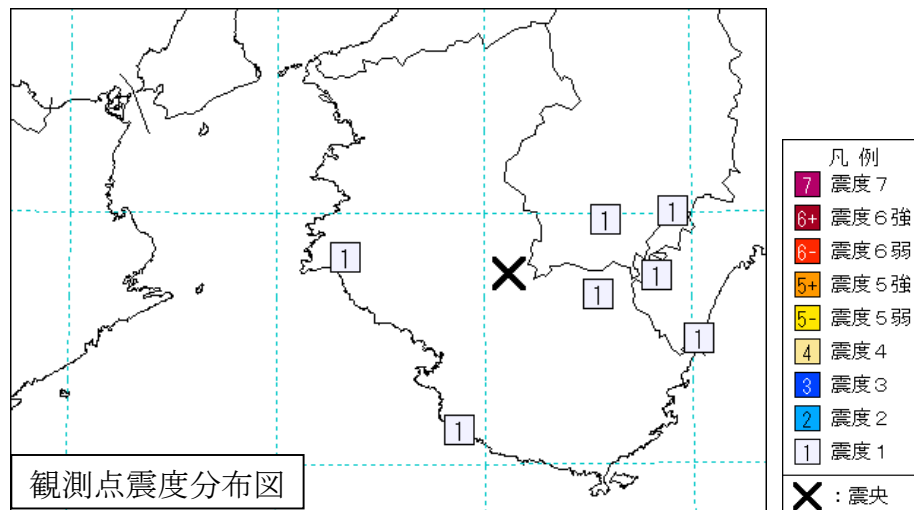
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

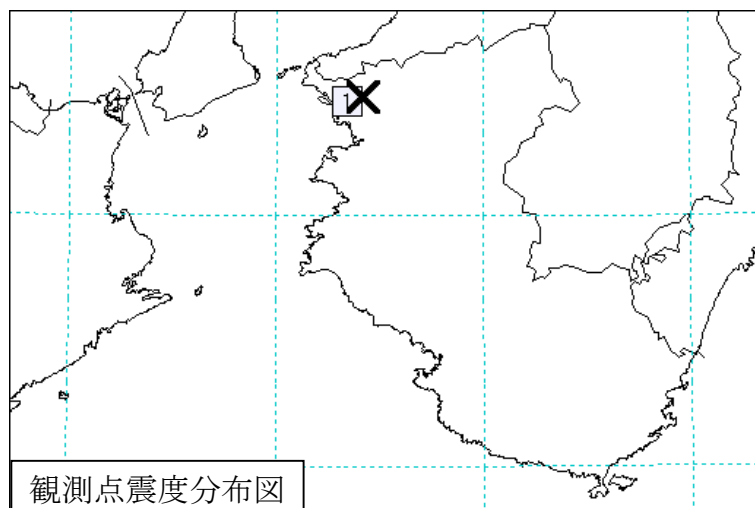
2025 年 06 月 02 日 08 時 50 分 和歌山県南部の地震（深さ 53km 、M3.8）



2025 年 06 月 02 日 18 時 26 分 和歌山県南部の地震（深さ 52km 、M3.3）



2025 年 06 月 08 日 17 時 37 分 和歌山県北部の地震（深さ 6km 、M2.0）



2. 地震一口メモ

津波フラッグ

和歌山県は、南海トラフ地震の想定震源域に近く、南海トラフ地震が発生した場合には、津波到達までの時間が非常に短いことから、『揺れたら逃げる』を津波避難行動の基本としています。

しかしながら、海水浴中や海でのレジャー等で海上に居られる方々は、地震の揺れを感じる事が無いおそれがあり、加えて聴覚に障害をお持ちの方は、音声での津波警報等（大津波警報、津波警報、津波注意報）の発表にも気づかないことが考えられます。

気象庁では、従来の音声での津波警報等（大津波警報、津波警報、津波注意報）の伝達手段のほか、『津波フラッグ』による視覚的な伝達の普及啓発に取り組んでいます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

Yahoo! ニュース
オリジナル
監修：気象庁

津波フラッグは避難の合図

**海から離れて
高いところへ!**

いつ使われる？	どこで使われる？	見かけたら？
津波警報などの発表時 ※大津波警報・津波警報・津波注意報	海水浴場など 波音や風で音が聞き取りづらいため、旗で視覚的に伝達	高いところへにげて! すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を

気象庁ホームページ 津波フラッグについて；

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html